

(報道発表資料)



京都市
CITY OF KYOTO

京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



健康長寿のまち・京都

プラスせんぽ
+1000

令和6年8月30日

京都市保健福祉局

健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課

電話075-746-7734

令和6年度における認知症普及啓発のための取組

認知症とともに 2024

京都市では、9月21日の「認知症の日（世界アルツハイマーデー）」や9月の「認知症月間（世界アルツハイマー月間）」※にちなみ、認知症への偏見や誤解をなくし、認知症とともに生きるまちを目指すため、「認知症とともに2024」と題し、認知症についての普及啓発の取組を実施します。

※ 認知症の日（世界アルツハイマーデー）・認知症月間（世界アルツハイマー月間）

1994年に国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機関（WHO）が9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、2012年からは9月を「世界アルツハイマー月間」と決めました。また今年1月1日施行の「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」においても、9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定め、広く認知症についての関心と理解を深めることとされています。

1 取組概要

(1) 「認知症とともに2024」ポスターの掲示及びチラシの配架

京都市内の協力機関において、ポスター（別添1）掲示と、チラシ（別添2）の配架を行います。今年度は、北区在住の若年性認知症当事者本人の芳賀和則氏が大学の授業に出向いて、自らの思いを発信されている様子を掲載しています。写真の撮影は、同じく若年性認知症当事者本人で写真家でもある下坂厚氏です。認知症の人が学生をはじめ様々な人に対し、自らの思いを発信する取組が広がってきていること、また認知症の御本人が多方面で活躍されていることを周知します。

(2) 図書館をはじめとする各所での啓発展示の実施



京都市図書館や、協力いただける市内の大学図書館をはじめとする各所において、認知症に関連する図書の特設コーナーを設けるとともに、ポスター(別添1)の掲示やチラシ(別添2)をはじめとする啓発物品の配布を行います。

実施期間については、ホームページをご参照ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000326686.html>

(写真:イズミヤショッピングセンター六地蔵での展示)

(3) 「わたしが紹介したい認知症の本2024(認知症に関する本のブックレビューの募集)」

認知症への理解を深めるきっかけ作りとして、認知症に関する書籍を手にとっていただくことを目的に、その書籍を実際に読んだ人から寄せられたブックレビュー(書評)を、デジタルブックにて京都市情報館に公開します。また、醍醐中央図書館で実施される特別展示(9月9日～29日)において、ブックレビューの展示を行います。



(写真:昨年度の醍醐中央図書館での展示)

(4) 「#京都オレンジ色プロジェクト2024(オレンジ色の写真の募集)」

「認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色の何か」を写真に撮ってメールでお寄せいただくよう、広く呼びかけます。集まった写真はSNS(Facebook・X)の「みんなでつくろう!認知症とともに生きるまち・京都」を通じて発信します。

2 京都市京セラ美術館のライトアップ



認知症の日(世界アルツハイマーデー)である、9月21日の日没から午後10時にかけて、京都市京セラ美術館において、光のアーティスト、高橋匡太氏の監修によるオレンジライトアップを行います。

(写真:昨年9月21日のライトアップの模様)

高橋匡太(たかはしきょうた)氏プロフィール

1970年生まれ。京都府出身。1995年京都市立芸術大学大学院修了。映像と光を巧みに操りライティングプロジェクト、パブリックワークなど幅広く活躍。元離宮二条城、十和田市現代美術館、東京駅など大規模な建築物のライティングプロジェクトでは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を作り出している。